

佐渡市建設工事総合評価落札方式実施要領の運用基準 新旧対照表

新

旧

様式第3号(第4条関係)(裏面)

提案会社名： _____

注意事項

- ※1 現場の特性等を踏まえた施工上配慮すべき事項を本様式を用いA4版1枚で、項目立てをし、簡潔、かつ、分かりやすく記述してください。(文字フォント11ポイント以上、行間隔や罫線枠等の書式変更は不可とする。)
- ※2 現場の特性等を踏まえた施工上配慮すべき事項を A4版1枚で、2事項以上3事項以下に 事項立てをし、簡潔、かつ、分かりやすく記述すること。(文字フォント11ポイント以上、行間隔や罫線枠等の書式変更は不可とする。)
- 3事項を超えた場合は、記載順に3事項までを評価対象とし、以降の事項は評価対象としない。
- ※3 必要に応じ、説明図表を添付してください。(A4版1枚を限度とする。)
- ※4 仕様書、又は設計図書等に記載されているもの若しくは施工条件として提示されているものを、そのまま提案していただいても評価の対象となりません。また、「必要に応じて・・・」「状況に応じて・・・」等の曖昧な表現は避けること。

【記載例】

事項数が明確となるように、「① ○○について」と表題をつけ、次にその内容を記載すること。

- ① ○○について
・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・を行う。
- ② □□について
・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・を行う。
- ③ ◇◇について
・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・を行う。

- ※5 具体的な施工計画の提案に基づく設計変更は、原則として行いませんので、提案にあたってはご注意ください。

様式第3号(第4条関係)(裏面)

提案会社名： ○○建設㈱ _____

注意事項

- ※1 現場の特性等を踏まえた施工上配慮すべき事項を本様式を用いA4版1枚で、項目立てをし、簡潔、かつ、分かりやすく記述してください。(文字フォント11ポイント以上、行間隔や罫線枠等の書式変更は不可とする。)
- ※2 必要に応じ、説明図表を添付してください。(A4版1枚を限度とする。)
- ※3 仕様書、又は設計図書等に記載されているもの若しくは施工条件として提示されているものを、そのまま提案していただいても評価の対象となりません。また、「必要に応じて・・・」「状況に応じて・・・」等の曖昧な表現は避けること。

記載例

・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・を行う。

- ※4 具体的な施工計画の提案に基づく設計変更は、原則として行いませんので、提案にあたってはご注意ください。

新

様式第 6 号(第 11 条関係)

様式第 6 号(第 11 条関係)

簡易な施工計画評価調査

工 事 名			
評価担当課	課 課長		
課 題			
記号	事 項 名	評 価	・簡易な施工計画に不適合があった場合の理由 ・実施により品質の低下を招くことがある記載等があるか。
A	1.	○	
	2.		
	3.		
B	1.	○	
	2.		
	3.		
C	1.	○	
	2.		
	3.		
D	1.	○	
	2.		
	3.		
E	1.	○	
	2.		
	3.		

※ 評価：○ / 1 点 現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切。
 △ / 0 点 一般的な記述にとどまっているが、不適切な内容ではない。
 × / 失格 不適切。又は、未記載

旧

様式第 6 号(第 11 条関係)

様式第 6 号(第 11 条関係)

簡易な施工計画評価調査

工 事 名		
評価担当課	課 課長	
記号	確認項目と配点	
	評価	・簡易な施工計画に不適合があった場合の理由 ・実施により品質の低下を招くことがある記載等があるか。
A		
B		
C		
D		
E		
F		
G		
H		
I		
J		

※ 評価：○ / 3 点 現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切。
 △ / 0 点 一般的な記述にとどまっているが、不適切な内容ではない。
 × / 失格 不適切。又は、未記載

新					旧				
別表 1：設計金額 1 億 2 千万円以上の建築一式工事 別表 2：設計金額 1 億 2 千万円以上の土木一式工事 エ 企業倫理や信頼性等(減点項目)					別表 1：設計金額 1 億 2 千万円以上の建築一式工事 別表 2：設計金額 1 億 2 千万円以上の土木一式工事 エ 企業倫理や信頼性等(減点項目)				
評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
(ア) 品質確保 の確実性	<u>本工事における入札で 低入札価格調査基準価格 を下回る価格で応札。</u>	<u>低入札価格調査 基準価格を下回 る価格</u>	-5	/-5	(ア) 品質確保 の確実性	調査基準価格を下回る 額で入札を行った者の、佐 渡市発注工事における過 去 1 年度間及び当該年度 (基準日まで)に完成、引渡 し済みの工事の成績評定 点のうち最低の工事成績 評定点。	65 点未満	-5	/-5

新

別表 5：簡易な施工計画
オ 簡易な施工計画

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
(ア)設計図書の範囲内で施工上配慮すること	当該工事を設計図書の範囲内で施工する上で重点的に配慮すべきことを求める。	現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切である提案が 3 事項。	3	/3
		現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切である提案が 2 事項。	2	
		現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切である提案が 1 事項。	1	
		具体的で適切である提案が 1 事項もない。(一般的な記述にとどまっているが、不適切な内容ではない。)	0	
		不適切、又は、未記載	失格	

旧

別表 5：簡易な施工計画
オ 簡易な施工計画

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
(ア)設計図書の範囲内で施工上配慮すること	当該工事を設計図書の範囲内で施工する上で重点的に配慮すべきことを求める。	現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切。	3	/3
		一般的な記述にとどまっているが、不適切な内容ではない。	0	
		不適切、又は、未記載	失格	

新					旧				
2 評価基準等の詳細 エ 企業倫理や信頼性等(減点項目)					2 評価基準等の詳細 エ 企業倫理や信頼性等(減点項目)				
評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点	評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
(ア)品質確保の確実性	<u>本工事における入札で低入札価格調査基準価格を下回る価格で応札。</u>	<u>低入札価格調査基準価格を下回る価格</u>	-5	/-5	(ア)品質確保の確実性	調査基準価格を下回る額で入札を行った者の、佐渡市発注工事における過去 1 年度間及び当該年度(基準日まで)に完成、引渡し済みの工事の成績評定点のうち最低の工事成績評定点。	65 点未満	-5	/-5

オ 簡易な施工計画

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
(ア)設計図書の範囲内で施工上配慮すること	当該工事を設計図書の範囲内で施工する上で重点的に配慮すべきことを求める。	現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切である提案が3事項。	3	/3
		現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切である提案が2事項。	2	
		現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切である提案が1事項。	1	
		具体的で適切である提案が1事項もない。(一般的な記述にとどまっているが、不適切な内容ではない。)	0	
		不適切、又は、未記載	失格	

※ 運用基準で規定する簡易な施工計画の内容が白紙の場合等、不適正な場合とは、次のいずれかが認められた場合のことをいう。

「市が設定した課題とかけ離れている内容である。」、「白紙である。」、その他明らかに適正でない。

※ 提出様式等 様式第3号

- 現場の特性等を踏まえた施工上配慮すべき事項をA4版1枚で、**2事項以上3事項以下に事項立て**をし、簡潔、かつ、分かりやすく記述すること。(文字フォント11ポイント以上、行間隔や罫線枠等

オ 簡易な施工計画

評価項目	評価内容	評価基準	配点	得点
(ア)設計図書の範囲内で施工上配慮すること	当該工事を設計図書の範囲内で施工する上で重点的に配慮すべきことを求める。	現場条件を踏まえて配慮すべき事項の記述が具体的で適切。	3	/3
		一般的な記述にとどまっているが、不適切な内容ではない。	0	
		不適切、又は、未記載	失格	

※ 運用基準で規定する簡易な施工計画の内容が白紙の場合等、不適正な場合とは、次のいずれかが認められた場合のことをいう。

「市が設定した課題とかけ離れている内容である。」、「白紙である。」、その他明らかに適正でない。

※ 提出様式等 様式第3号

- 現場の特性等を踏まえた施工上配慮すべき事項をA4版1枚で、項目立てをし、簡潔、かつ、分かりやすく記述すること。(文字フォント11ポイント以上、行間隔や罫線枠等の書式変更は不可とする。)

の書式変更は不可とする。)

- ・ 3 事項を超えた場合は、記載順に 3 事項までを評価対象とし、以降の事項は評価対象としない。

- ・ 必要に応じ、説明図表を添付すること。(A 4 版 1 枚を限度とする。)

- ・ 仕様書、又は設計図書等に記載されているもの若しくは施工条件として提示されているものを、そのまま提案したものは評価の対象としない。

また、「必要に応じて・・・」「状況に応じて・・・」等の曖昧な表現は避けること。

記載例

事項数が明確となるように、「1 ○○について」と表題をつけ、次にその内容を記載すること。

- 1 ○○について
・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・
を行う。

2 □□について
・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・
を行う。

3 ◇◇について
・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・
を行う。

※ 具体的な施工計画の提案に基づく設計変更は、原則として行わないものとする。

- ・ 必要に応じ、説明図表を添付すること。(A 4 版 1 枚を度とする。)

- ・ 仕様書、又は設計図書等に記載されているもの若しくは施工条件として提示されているものを、そのまま提案したものは評価の対象としない。

また、「必要に応じて・・・」「状況に応じて・・・」等の曖昧な表現は避けること。

記載例

・・・・(配慮事項)・・・・のため、・・・・(対応)・・・・
を行う。

※ 具体的な施工計画の提案に基づく設計変更は、原則として行わないものとする。